

Mich

Minoh City Hospital

2011.8 Vol.24



コウゾ (滝道)

<http://www.minoh-hp.jp>

編集発行：箕面市立病院 患者サービス・広報委員会 ☎ 072-728-2001 (内線2206)

INDEX

- 1. 開院30周年を迎えました ————— P.1
- 2. 30年のあゆみ ————— P.2
- 3. Wave of Nursing (看護局ニュース) ————— P.3
- 4. 診療科からのメッセージ ————— P.4.5
- 5. 新任医師紹介 ————— P.6
- 6. 地域医療室だより ————— P.7
- 7. みなさまの声・節電への取り組み ————— P.8

開院30周年を迎えました

箕面市立病院は、昭和56年(1981年)7月7日にオープンし、今年の7月7日で30周年を迎えました。7月7日には、「開院30周年記念式典」や「たなばたコンサート」、「記念植樹」などの記念事業を実施し、多くのかたに参加していただきました。

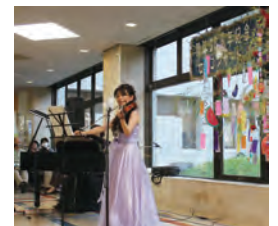
記念式典

千里阪急ホテルで、市長、市議会議長をはじめ、関係者約160名が集まり、記念式典を挙行了しました。式典の中で、永年にわたり病院事業運営に貢献いただいた周辺自治会に対して感謝状を贈呈するとともに、開院から30年間勤務した職員に永年勤続表彰を行いました。



たなばたコンサート

外来ロビーで、吉岡邑玲さん、米井里香さんによるヴァイオリンとピアノ演奏、Skyさんによるアカペラのコンサートを開催しました。約160名のかたに参加していただき、「星に願いを」「夢ひとつ」などの素敵な演奏や歌声に酔いしれ、「たなばたさま」をみんなで合唱し、あっという間の楽しい1時間でした。



記念植樹

雨の中、玄関前の築山に蠟梅(ろうばい)の木を植樹しました。蠟梅は冬に黄色い花を咲かせる落葉低木です。これからの市立病院をしっかりと見守ってという思いで植樹しました。



出産記念品「おくるみ」



開院30周年を記念して、箕面市のゆるキャラ「たきのみちゆする」と「モミジーヌ」をあしらったベビー用おくるみを作成しました。7月7日以降に当院で出産されたかたに贈ります。

箕面市立病院30年のあゆみ

昭和
56年 4月
56年 7月
56年 12月
60年 4月
平成
3年 7月
5年 4月
7年 4月
8年 6月
8年 7月
11年 4月
13年 3月
13年 7月
14年 10月
15年 8月
15年 11月
15年 12月
16年 3月
16年 4月
17年 1月
18年 4月
20年 11月
21年 3月
21年 6月
22年 3月
22年 11月
23年 7月

箕面市立病院の開設計可 (310床)

診療開始 (7日) 内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科救急病院等の認定

麻酔科設置

開院10周年

救急診療部設置、地域医療室設置

精神科設置

神経内科設置

集中治療室開設、形成外科、リハビリテーション科設置、リハビリテーション専門病棟50床増設

伝染病棟 (10床) の廃止

救急病院等としての協力診療科に小児科を追加

開院20周年

電子カルテシステム稼働

日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver.4.0) の認定

開放病床 (5床) 認可

日帰り手術センター設置、歯科休日診療開始

『箕面市立病院経営健全化計画』を策定

内科一次救急の休日診療開始、小児科二次救急の輪番制開始

大規模改修工事着工

大規模改修工事完了 (317床)、救急診察室増設
DPC (診断群分類別包括評価) による入院医療費の算定開始
日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver.5.0) の認定

『箕面市立病院改革プラン』の策定

地方公営企業法の全部適用による
経営形態の変更

大阪府がん診療拠点病院に指定

地域医療支援病院の承認

開院30周年



←建設中の市立病院



←開院式典



↑診療開始日の外来ロビー



←リハビリテーションセンター増築 (平成8年)



↑開院20周年記念式典



←電子カルテシステム稼働



↑開放病床での診察の様子



↑大規模改修工事



←新型インフルエンザ発熱外来設置 (平成21年)



↑救急診察室増設

Wave of Nursing

— よりよい看護を提供するために「固定チームナーシング」 —

看護局副看護局長
栗本 久美子

当院は地域に根ざした急性期病院として、安全で質の高い医療を提供することが役割です。平均在院日数（入院期間）は、11.3日と年々減少しています。入院期間が短くなるなかで、複雑・多様化する医療現場では“責任ある看護”をどのように実践するかが課題となります。

■看護システムは

ご存知のように、看護師は昼も夜も交代輪番制で勤務をしています。1病棟のベッド数は38～50床。入退院で患者の入れ替わりは激しく、全ての看護師が、全ての患者さまの状態や情報を把握して対応することは困難です。そこで、協力体制をとって課題達成に取り組む方法として「固定チームナーシング」という小集団活動を基盤にした看護方式をとっています。

これは、病棟の看護師を2つまたは3つのチームに分け、担当する患者グループを受け持つ方式です。一定の患者グループに対し一定の看護チームが情報を共有し看護を行い、問題解決に向け働きかけます。また、受け持ち看護師を決めることで、患者さまが誰に相談してよいのかも分かり、責任が明確になります。経験豊富な看護師もいれば新人看護師もいます。看護チーム全体で患者さまに向き合う看護システムです。

固定チームナーシングの目的

- ①患者さまに責任をもって継続した質の高い看護を実践する。
- ②看護スタッフのやりがい感・自己実現をめざす。
- ③看護スタッフの育成（教育）とその成果をめざす。

■看護チームの目標は

それぞれの看護チームに、チームリーダー、サブリーダーを任命します。新チームが始まる4月には、みんなでチームの年間目標をたてます。“こんな看護がしたい” “専門知識を持ちたい” “業務を見直したい”・・・など、スタッフのいろいろな意見を出しあいます。今年は何に取り組むのか、その成果や評価はどうするのか、チームの特殊性や状況を考え、自分の役割も意識して目標を具体化します。チームリーダー、サブリーダーにとっては、とりわけこの作業がとても大事なだけに苦労も多いようです。しかし、目標達成できたとき“看護のやりがい”を実感でき、自己の成長へと繋ぐことができます。



集合研修：「固定チームナーシング」

■リーダーシップを磨く

“私はリーダーに向いてない”と、尻込みをする人がいますが、リーダーシップは訓練です。チームリーダーという役割を通して人は学び、さまざまな経験を積み重ねながら自分を磨きます。技を磨く、仕事（看護）を楽しむ、笑顔で人（患者さま）を元気にする、これも良きリーダー像です。責任をもって看護の実践ができる看護師を看護チームで育成しています。

診療科からのメッセージ

がん診療推進部



池田 公正
いけだ きみまさ

本年4月より赴任した外科の池田です。私自身は、大腸癌を専門として診療（主に手術）に従事しております。わが国では現在、「がん対策基本法」「がん対策推進基本計画」に基づいて、がん医療の質の向上が推進されており、その中で当院は、大阪府がん診療拠点病院の指定を受けております。がん

の診断・治療には多くの職種（医師・看護師・薬剤師など）が関わり、更には地域連携（かかりつけ医との連携）も必要です。これら患者さまを中心としたがん診療が円滑に進むように、われわれがん診療推進部が活動しています。

具体的には、がん専門医（内科・外科・産婦人科・泌尿器科・放射線科・精神科）による合同検討会、地域連携も含めた診療計画の作成・推進、がん患者及び家族を対象とするカウンセリング、セカンドオピニオン外来、緩和ケアなどがあります。1人でも多くの患者さまに満足していただけるように、当院ではさらなるがん診療の充実・安全性の向上・質の向上に努め、みなさまにより良いがん医療を提供したいと思っています。

耳鼻いんこう科



嶽村 貞治
たけむら ていじ

4月から耳鼻いんこう科に赴任しております嶽村です。現在2人の医師スタッフで、看護師や検査技師、医療事務スタッフのサポートを得ながら日々の診療に取り組んでいます。昨今勤務医不足が話題になっていますが、耳鼻いんこう科も御多分にもれず勤務医が全国的に減っています。勤務医が入院治療を要する疾患や手術症例などに専念できるように、前任の先生の時から完全予約制とさせていただいています。不便な点もありますがご理解ご協力よろし

くお願いいたします。

耳鼻いんこう科では耳・鼻・のど（咽頭・喉頭）・頸部それぞれの特性にあわせ異なるアプローチで手術を行っています。その中で最近大きく変わったのが鼻の手術です。内視鏡手術が主流となり、マイクロデブリッダーシステム導入で更に進歩しています。旧来の「ちくのう手術」の話を聞いて二の足を踏んでいるかたがいらっしゃると思いますが、以前の術式に比べ患者さまの負担は随分軽減しています。まずお近くの耳鼻いんこう科開業医の先生を受診していただき、手術適応となれば紹介状持参でご来院ください。

鼻内視鏡手術以外にも鼓膜チューブ留置術、アデノイド手術、扁桃摘出術、喉頭顕微鏡下手術などを施行しています。今後とも耳鼻いんこう科をよろしくお願いいたします。

脳神経外科



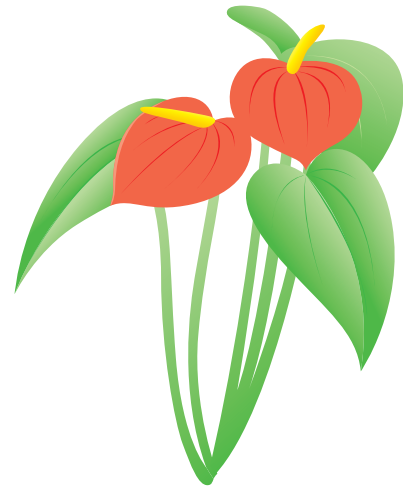
金子 彰
かね こ あきら

脳神経外科といえば「脳・神経に関わる疾患を外科的に治療する科」と、広く認識されていることと思います。しかし、実際の脳神経外科医の仕事内容は、外科的手術療法以外にも広範囲にわたっております。脳・神経疾患の救急対応や薬剤投与などの非外科的治療、ガンマナイフなどの放射線治療、リハビリテーションや予防治療までを脳神経外科医たちが一手に担っている施設が多く存在します。

その一方で最近では、新しい脳神経外科分野として低侵襲手術が発展しており、細径内視鏡を用いた神経内視鏡手術やカテーテルによる脳血管内治療などの特殊技術を携えたより専門的な脳神経外科医も増えております。

一般の脳神経外科外来を受診されるかたは、その症状の多い順に、1) 頭痛、2) 手足のしびれ、3) めまい症状となっております。他には、頭部打撲やキズ、または物忘れ症状を訴えて受診されるかたもあります。

当院脳神経外科外来では、上記の症状を含めた神経系疾患についての診察および治療を行っております。必要があれば関連各科と連携して治療を行っております。手術などのより高度な専門的処置を要する場合には、現在のところ他の病院にご紹介させていただいております。よろしくお願いいたします。



市立病院開院30周年記念事業「市民医療講座」のご案内

当院では、各診療科の専門医が診療内容や最新の情報をお伝えする市民医療講座を実施しています。

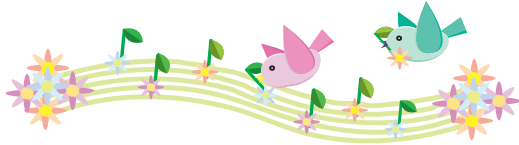
9月9日（金）には、救急医療週間市民健康教室として、（社）箕面市医師会、箕面市健康福祉部との共催で以下のとおり実施いたします。みなさまのご参加お待ちしております。

参加無料・申込不要

*ただし、手話通訳・要約筆記をご希望のかたは、9月2日（金）までにお申し込みください。

日時	場所	講演内容
9月9日（金） 午後2時～午後4時	箕面市立病院 リハビリテーション棟 4階 いろはホール	「豊能広域子ども急病センターの現状と課題」 （社）箕面市医師会 笠原小児科院長 豊能広域子ども急病センター所長 笠原 勝 医師 「小児救急疾患に対する保護者の役割」 市立病院副院長 山本威久 医師

※ お問い合わせ：経営企画課 TEL:072-728-2034 FAX:072-728-8232
 Mail:hospital@maple.city.minoh.lg.jp



新任医師紹介

①所属科 ②卒年 ③自己紹介



高田 剛

① 泌尿器科
② 平成3年卒

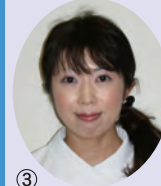
③ 4月より市立池田病院から赴任いたしました。専門領域は泌尿器科悪性腫瘍全般と腹腔鏡手術ですが、“箕面市そして近隣のみなさまの泌尿器科臓器は私たちが守る”を心の糧に勤務いたしております。泌尿器科領域の点でお困りの点があればお声をおかけください。



山本善光

① 産婦人科
② 平成9年卒

③ 青森県の弘前大学から異動してきました。専門は周産期ですが、市立病院の得意分野である内視鏡手術を初め幅広い分野で病院に貢献できるようがんばっていきたくと思います。よろしく願いいたします。



林 正美

① 産婦人科
② 平成10年卒

③ はじめまして。みなさまのお役に立てるようがんばりたいと思います。よろしく願いいたします。



木島衣理

① 小児科
② 平成14年卒

③ 4月より小児科に赴任いたしました。3月までは大阪市内の愛染橋病院に勤務していました、箕面市の地域医療に貢献できるよう努力していきますので、よろしく願いいたします。



佐々本尚子

① 産婦人科
② 平成18年卒

③ 4月から当院で勤務させていただいています。みなさまのお役に立てるようがんばりたいと思いますのでよろしく願いいたします。



長瀬博次

① 外科
② 平成19年卒

③ 本年度4月より勤務しております外科後期研修医の長瀬博次です。手術を受ける患者さまを不安にさせないような医療を志しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



西井稚尋

① 内科
② 平成20年卒

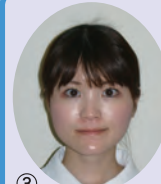
③ 4月より後期研修医として勤務させていただいております西井稚尋です。今後は内分泌代謝内科を専攻し勉強していきたいと思っています。少しでもみなさまのお役に立てるように精一杯がんばりますので、どうぞよろしく願いいたします。



北井宏美

① 内科
② 平成21年卒

③ 4月から内科後期研修医として勤務させていただいております。みなさまのお役に立てるように精一杯がんばります。どうぞよろしく願いいたします。



宮本 梓

① 産婦人科
② 平成21年卒

③ 大阪市の病院で2年間初期研修をして、4月から産婦人科後期研修医として当院に勤務しています。少しでもみなさまの役に立てるように努力していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

臨床研修医



橋本典子

① 臨床研修医
② 平成23年卒

③ 4月より臨床研修医1年目として勤務しております。毎日学ぶことが多く、充実した研修生活を送らせていただいています。笑顔を忘れずみなさまのお役に立てるような医師をめざしていきますので、どうぞよろしく願いいたします。



神原正宜

① 臨床研修医
② 平成23年卒

③ 臨床研修医1年目の神原正宜です。各診療科の垣根が低く、病院全体として患者さまにより良い医療を提供できる病院だと思います。2年間で知識と技術をはじめ、いろいろなことを積極的に学んでいきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。



永井泰紀

① 臨床研修医
② 平成23年卒

③ 箕面市には大学時代より住んでおりますが、のどかな雰囲気と人の温かみをとっても心地よく感じています。これからはみなさまのお役に立てるように微力ながらがんばりますので、どうぞよろしく願いいたします。

臨床研修医



奥山直美

- ① 臨床研修医
- ② 平成23年卒

③ 今年4月から臨床研修医として勤務しています。まだまだ学ばなければならないことはたくさんありますが、早く地域の患者さまのお役に立てるよう、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



小堀優子

- ① 臨床研修医
- ② 平成23年卒

③ 4月より臨床研修医1年目として勤務させていただいております小堀優子です。2年間研修させていただきます。地域のみなさまのお役に立てるよう精一杯精進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



清水健史

- ① 臨床研修医
- ② 平成23年卒

③ 臨床研修医1年目の清水健史です。医師として至らぬ点が多いとは思いますが、少しでも早く地域のみなさまのお役に立てるよう努力してまいりますので、よろしく申し上げます。



藤井歩

- ① 臨床研修医
- ② 平成23年卒

③ 臨床研修医として1年間お世話になります藤井歩と申します。少しでも市民のみなさまのお役に立てる医師をめざして、日々研鑽を積んでいきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



佐野博昭

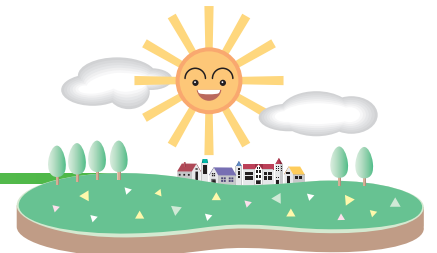
- ① 臨床研修医
- ② 平成23年卒

③ 4月から臨床研修医1年目として勤務しております。たくさんの方の事を学んで、少しでもみなさまのお役に立てるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。



地域医療室だより

地域医療連携の強化に向けて「登録医紹介ページ」を



地域医療室では、地域の医療機関との円滑な連携のためにさまざまな取り組みを進めています。

連携医療機関登録制度への取り組みもその一つですが、今回、この制度で当院に登録いただいている連携医療機関を患者さまにもっとよく知っていただくために、「登録医紹介ページ」として、病院ホームページに掲載しようと作成を進めています。これまでも「連携医療機関一覧」を院内の医療連携コーナーに設置し、自由にお取りいただく形で登録医療機関をご紹介していましたが、病院ホームページでは、一覧には掲載できない診療時間や案内図といった詳しい情報を提供し、「かかりつけ医」としてより身近なものに感じていただく際の参考にしていただきたいと考えています。

また、その他にも、「かかりつけ医」の先生にお使いいただく当院宛紹介状専用封筒の作成・配布や、患

者さまを紹介する際に院内医師が活用する医療機関情報の整備など、地域とのよりスムーズな医療連携を図るために必要な取り組みを順次進めていきます。

今後とも、患者さまへ切れ目のない医療を提供することができるように、地域の基幹病院として、地域の医療機関との緊密な連携の維持・強化に努めていきたいと考えています。

◎新メンバー紹介

これまで民間企業に勤務し、今年4月より地域医療室に事務職員として入職いたしました。

微力ですが、地域医療機関との連携に日々取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

横山 尚子



✕✕✕✕✕✕✕✕ ✕✕✕✕✕✕ ✕✕✕✕✕✕✕✕

みなさまの声

当院では、みなさまから寄せられたご意見・ご要望をもとに患者サービスの改善に取り組んでおります。ご意見・ご要望の内容についてご紹介します。

Q1. 個室の椅子について

パイプ椅子しかないので、ソファを設置してはどうでしょうか。

A1. 現状の個室スペースなので、折りたたみ椅子などの容易に移動でき、コンパクトなものを設置しています。ご理解ください。

Q2. 外来待ち合いの温度設定について

外来待ち合いの温度設定はどうなっていますか。また、診察室・検査室によっても温度が全く違います。

A2. 施設内の温度は、窓側か内側かなどによって、室温に差が生じますが、外来待ち合いなど夏期は27℃、冬期は22℃を基本に設定しております。また診察室・検査室は用途に応じて部屋毎に温度を調整しています。

節電への取り組み

東日本大震災の影響で関西電力管内でも定期検査中の原発の再稼働の見通しが立たないなど、この夏の電力需要のピークに向けて電力需給状況は極めて厳しい状況になりつつあります。当院においても、関西電力から節電要請を受け、削減率8%を目標に「箕面市立病院節電アクションプラン」を策定し、節電に協力していくことといたしました。

- 病棟の手洗いのお湯を水に。
- 病棟のウォシュレットの便座暖房をオフに。
- カンファレンスルームの照明をこまめに消す。 など

しかし、省エネ機器の導入など他院と比較してすでに10%以上の省エネを達成している当院でこれ

以上の節電をするには、消灯の徹底や0A機器など電気製品のこまめな電源オフ、空調温度の見直しなど、「何もここまで」というような細かな対策を積み上げるしか方法がありません。そのため、各部署で節電責任者を決めて、全職員が一丸となって実情に応じてできる限りの節電に取り組んでいます。みなさま方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



青空

暑くてたまらない夏の夜も、なでしこジャパンの快音が暑さを吹き飛ばしてくれましたが、過ぎてしまえばまた暑く…。寝室の網戸などにクマゼミが取り付こうものなら…。アツさとやかましさのルツボに叩き込まれたようで、節電のルールもどこへやら…。まだまだ、暑さは続きそうですが、水分補給もし、適当に冷やすこともしながら、ご自愛ください。

今号は、市民の皆さんと共に創ってきた市立病院の30年、その30周年を記念して編集しました。昭和56年

(1981年)7月7日、七夕オープン。「日本一親切で信頼される病院」を創ろうという当時の強い想いは、今も脈々と受け継がれています。市民の皆さんに良質で安心・安全な医療を提供し続けることこそが私たちの使命であることを、30周年の節目に当たって、職員一同想いも新たに確認し、今後とも信頼され愛される市立病院であるように力を注いでまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。(T.S)